

環境分野における推進戦略の骨子(案)

1. 分野の状況

- 個別公害対策の時代から総合的環境保全対策の時代に
- 地球環境問題が顕在化し人類全体の重要課題に
- 持続可能な循環型社会、自然と共生できる社会の構築が重要課題に
- このような環境分野の課題に科学技術面からの貢献が必要

2. 重点化の考え方

環境問題を解決し共生と循環を基調とした社会の構築に資するものであることを基本として、

- ①政府全体としての環境政策に結びつく具体的かつ現実的な目標を目指すものであること
- ②最終的に実用化などの研究開発目的を達成することが十分可能であること
- ③新しい知見や技術を創出し、国民の生活向上および国際貢献に資するものであること
- ④特に環境分野においては、各省の役割を統合した政府全体としての政策目標とその解決にあたる道筋を設定した、幅広いシナリオ駆動型の統合化プログラム(仮称)が期待されること

3. 重点となるはずの領域・項目

- 地球環境研究
- 循環型社会構築研究
- 有害化学物質研究
- 自然共生型社会構築研究

以上の重点4領域の中で重点化の考え方に照らして環境問題の解決に資するものを優先(特に統合化プログラムを優先、例:地球温暖化防止プログラム、化学物質総合管理プログラム、自然共生型流域圏再生プログラム、循環型社会構築プログラム)

- 標準物質、計測技術、環境生物資源保存等知的基盤の整備が重要

4. 備考

- 都市再生本部における循環型都市等の環境問題と関連する検討と連携することが必要
- 他のプロジェクトで検討される他分野との融合領域としての環境研究課題についても検討が必要

環境分野推進戦略に関する主たる論点 －委員からのご意見－

1. 「統合化プログラム」か「イニシアティブ」か？

- 市川委員

「分野」「とりまとめ」に共通して、ここで「プログラム」とくに「統合化プログラム」と呼ばれているものは、推進戦略(イニシャティブ)と呼ぶべきである。

2. 地球環境研究を温暖化防止に絞るか否か？

- 小池委員

この4つの重点領域は、基本的なものとして十分納得できるが、その後の事例になると、急にこれまでの概念に戻ってしまうのは理解出来ない。例えば地球環境研究は地球温暖化対策研究に矮小化されてしまう。

3. 化学物質の統合化プログラムをどう構成するか？

- 御園生委員

「化学物質の総合管理」などの表現が好ましい。リスク予防、グリーン・サステイナブル化学の推進を重点に。

- 宮本委員

「安全化学物質」とし、「人間集団(生体改め)および生態系に悪影響を及ぼす化学物質のリスクを極小化し、より安全な化学物質の創製を目指すための科学技術とする」とする。

4. 基礎的研究をどう取り扱うか？

- 御園生委員

基盤となる基礎科学の重要性に十分に配慮を。

上記に対応して、例えば、(a)技術開発計画、(b)調査研究計画、および(c)基礎研究(目的はあるが、柔軟な運営。研究者個人からのボトムアップ型)にわけると。前2者はシナリオ駆動型として重点をおくが、(c)についてもその重要性を明示し、しかるべき資源の配分を確保する。